

## 令和7年度全国学力・学習状況調査における

### 北九州市立 高槻 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、6年生を対象として、令和7年4月17日（木）に、「教科（国語、算数、理科）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月18日から4月30日の間）に「児童質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていたいとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

#### I. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

#### 2. 調査内容

##### (1) 教科に関する調査（国語、算数、理科）

###### 教科に関する調査（国語、算数、理科）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

##### (2) 児童質問調査

###### 児童質問調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

※ 本校の6年生については、単学級ですので個人が特定されないように公表の方法については、配慮しています。

### 3. 教科に関する調査結果の概要

#### (1) 全国・本市の学力調査（国語、算数、理科）の結果

本年度の結果	国語		算数		理科	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.9	64	8.6	54	9.1	53
全国	9.4	67	9.3	58	9.7	57

#### (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	「知識及び技能」における「情報の扱い方にに関する事項」、「思考力、判断力、表現力等」における「書くこと」の正答率が全国平均をやや上回った。
	よくできた問題	書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくりたり、段階相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができるかどうかをみる問題
	努力が必要な問題	事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかどうかをみる問題
算数	全体的な傾向や特徴など	すべての領域において、正答率が全国平均を下回った。
	よくできた問題	比例、異分母の分数の加法、角度の問題
	努力が必要な問題	割合、図形、単位量の幾つ分を言葉で説明する問題
理科	全体的な傾向や特徴など	「生命」を柱とする領域の正答率が全国平均を上回った。
	よくできた問題	顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身についているかどうかをみる問題
	努力が必要な問題	水の温まり方、結露についての問題、電気の性質についての問題

### 4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要

質問調査の結果分析	
【生活面について】	
・89%の児童が毎日同じくらいの時間に起きており、朝食は、全員がほぼ毎日食べている。それに対し、37%程の児童が、毎日同じくらいの時間に寝ていない。	
・健康にすごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、68.4%普段の生活に役立てていると答えている。	
【自尊感情などについて】	
・自分によいところがあると思う児童は、約84%。	
・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できるかどうかについては、59.4%ができる。	
【学習面について】	
・読書について、84.2%の児童が、読書は好きと答えている。	
・100%の児童が、地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている。	
・タブレットの使用について、約8.9割が文書作成や情報収集をすることができるなど高い割合で使いこなしている。	
・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思うについては、73.7%がそう思うと答えている。	

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

国語科において「ことのは」の取組、朝のチャレンジタイムの「MIM」を通して、「言葉の力」をつける取組。  
| 単位時間の中で意見交流の場（話合い活動）の設定

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

「高齢っ子のよい子のきまり」を周知し、家庭学習や自主学習を取り入れ、児童が計画的、積極的に取り組めるようにする。